

◇-----◇  
下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 4. 23

下水道機構の『新技術情報』 第 43 号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

◇-----◇

歓迎会など職場の宴は落ち着いた頃でしょうか。今日、4月23日は、ドイツでは「ビールの日」だそうです。1516年のこの日、「ビール純粋令」が發布され、水、ホップ、大麦・小麦の麦芽、酵母だけがビールの醸造に使用できることとなり、「ビールとは何か」が明確に定義された日だそうです。今日の帰りは、「ビールの日」を名目に・・・？

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第43号をお届けします。

業務に Tea Break にどうぞご活用ください。

※来週はGWのため、メルマガはお休みします。

#### ■□■□トピックス□■□■

##### ★インフォメーション

・6月1日(金)大阪会場(大阪科学技術センター)、8日(金)に東京会場(発明会館)において、「下水道における地震・津波対策」をテーマに、下水道新技術セミナーを開催いたします！

・機関誌「下水道機構情報」No.16を発行しました

・4月1日付、ニューフェースの職員さんから自己紹介をお届けします！【第3弾】

##### ★機構の動き

・今週は、4月26日(木)に平成24年度第1回横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する検討委員会が開催されます

##### ★Tea Break

・親の楽しみ方 (下水道機構 北の旅人さんからの投稿です)

##### ★みなさまからのコラム

・掲載情報募集中！

機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。

情報提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

##### ★国からの情報

・4月19日付け及び号外下水道ホットインフォメーションです

.....  
インフォメーション (最新の話です)  
.....

●6月1日(金)大阪会場(大阪科学技術センター)、8日(金)に東京会場(発明会館)において、「下水道における地震・津波対策」をテーマに、下水道新技術セミナーを開催いたします!

震災から1年、下水道事業各分野において様々な対策の検討が進められてきています。本セミナーでは、それぞれの分野等における最新のホットな情報をご紹介します。明治大学大学院の中林特任教授からは「地域防災計画からBCPへの展開」をテーマに基調講演、国交省国土技術政策総合研究所 堀江下水道研究部長からは「下水道事業における地震・津波への備え」をテーマに特別講演いただきます。また、宮城県土木部下水道課からはハード面における復旧の取り組みを、(株)東芝東北復興推進室からは設備面での対応を、当機構研究第一部からは最新の技術を用いた各種対策への取り組みをご紹介します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

なお、参加費は無料です(ただし、テキストが必要な場合は、当日テキスト代1,000円をご負担ください。その旨はWEB申し込み時にお知らせください。)。また、本発表会は、土木学会の継続教育(CPD)プログラムに認定されていますので、知見向上等に是非お役立てください。

※お申し込みは、こちらから → [http://www.jiwet.jp/school/school-02\\_056.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-02_056.htm)

●機関誌「下水道機構情報」No.16を発行しました。

当機構では、年4回(うち2回はニューズレター)機関誌を発行しています。今号は、「下水道資源の有効利用とエネルギー利用」をテーマにした特集です。冒頭のメッセージには、国交省 岡久下水道部長から「循環のみち下水道の成熟化」と題した執筆をいただきました。また、これまで新技術セミナーや新技術研究発表会でご講演いただいた、京都大学大学院 津野教授からの「下水汚泥のエネルギー化技術の現状と展望」、国交省下水道部 塩路下水道事業課長からの「下水道をめぐる最近の話題」、NEDO 佐藤省エネルギー部長からの「NEDOにおけるエネルギー技術に係る取り組み」の抄録も掲載しています。さらに、昨年度当機構が全国各ブロックで開催した下水汚泥のエネルギー化の普及啓発活動、下水道革新的技術実証調査や小規模用下水汚泥の燃料化システム実用化研究の概要、今年度新規の汚泥の減量化技術に関する共同研究の概要、省エネ・創エネ技術が導入されている川崎市入江崎水処理センターの現場ルポなども掲載しています。その他、「衝撃弾性波による管路診断」や「マンホール蓋の調査・診断・更新」等の調査研究成果、技術審査証明事業の昨年度

実績・今年度募集、今年度の機構が主催するイベント予定についてもご紹介しています。

機関誌は、先週末、自治体及び出捐団体、賛助会員等の窓口に送付しました。また、当機構のホームページに5月頃掲載する予定ですので、回覧も含めて現場の技術者の皆様までお知らせいただけますようお願いいたします。

●前号に引き続き4月1日付、ニューフェースの職員さんから自己紹介をお届けします！

今回は、資源循環研究部の岩見さんと福沢さんから自己紹介メッセージをいただいています。

=====

**【資源循環研究部 総括主任研究員 岩見博之さんからのメッセージ】**

(財)下水道新技術推進機構資源循環研究部の岩見です。株式会社クボタの水・環境総合研究所から参りました。

入社以来、汚泥熱処理に始まり、沈砂池設備（ジェットポンプ揚砂設備）、水処理設備（OD、MBR）、汚泥処理設備（各種脱水機、コンポスト）等様々な下水道設備に携わってきました。東京都下水道サービス(株)に出向して、汚泥処理工場の維持管理を経験したこともあり、あらためて事後を考慮した設備設計の重要性を認識した次第です。直近の職場は、中国・東南アジア・インド等海外環境市場向けの技術開発を行っておりました。下水道機構では、大学・公共団体・民間企業との共同研究を行うこととなり、今までとは異なる仕事の方法が必要となり不安もありますが、また、新しい方々との出会いを楽しみに業務を進めたいと考えております。どうかよろしくお願いたします。

=====

**【資源循環研究部 主任研究員 福沢敬三さんからのメッセージ】**

(財)下水道新技術推進機構資源循環研究部の福沢です。(株)日水コンの西部計画・管路部から参りました。これまで、主に基本構想、全体計画、事業認可などの下水道計画や合流改善、浸水対策などを経験してきました。

昨年の震災以降、エネルギー問題がますます注目されています。下水道には、汚水を介して有機物や熱エネルギーが集まってきましたが、まだまだ未利用の部分が多いです。配属になりました資源循環部は、これら未利用「資源」を「循環」させる新しい技術を扱います。私にとって未知の分野であり、不安な面もありますが、最先端の取り組みの一端を担えることを嬉しく思います。汚れた水をきれいにするだけの下水道から、下水道の持っている様々な資源が、下水道機構が、日本のエネルギーの課題を解決する！（意気込みで）がんばります。不慣れな面もありますが、今後ともよろしくお願いたします。

\_\_\_\_\_

機構の動き (機構の行事予定です)

---

- 4月26日(木) 15:00~17:00(場所:横須賀市役所)  
平成24年度 第1回 横須賀市下水処理場等の津波対策基本計画に関する  
検討委員会
  
  - 5月10日(木) 17:00~18:00(場所:機構8階会議室)  
第304回 技術サロン(テーマ:「下水道管渠の液状化被害とその対策」、ゲスト:  
国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究室 室長 横田 敏宏氏)  
参加お申し込みはコチラ→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-304.htm>
  
  - 第56回 下水道新技術セミナー(テーマ:下水道における地震・津波対策)  
【大阪会場】6月1日(金)13:00~16:45 (場所:大阪科学技術センター)  
【東京会場】6月8日(金)13:00~16:45 (場所:発明会館)  
※参加お申し込みはコチラ→ [http://www.jiwet.jp/school/school-02\\_056.htm](http://www.jiwet.jp/school/school-02_056.htm)
- 

Tea Break (機構職員の感じるまま)

---

- 親の楽しみ方 (下水道機構 北の旅人さんからの投稿です)  
私の息子は、小学校からバレーボールを始めたのですが中学生になった去年、バレーボールの全国大会に出場する事になり、8月の中体連では全国3位という結果でした。この試合結果は「月刊バレーボール」という雑誌に、「部員9名しかいない中学校が全国で優秀な成績を残した」などと掲載されました。12月の都道府県対抗の試合では、ベスト8という結果で良くがんばったと思います。  
子供体の試合を見るのも楽しいのですが、子供を餌に親が楽しんでいるのは夜。(毎晩酒盛り)。今後、子供にスポーツをさせるなら、大勢で楽しめる団体スポーツがいいと思いますよ。  
私自身は、日ごろからあまりスポーツをする機会もなく、たまにいくゴルフぐらいですが、ただ今年、雪のない冬を過ごし(我が故郷は自衛隊が出動するぐらいの大雪)、1月にゴルフ(研球会)ができるなんて。やはり、雪は無い方が良いです。  
今後は、腹回りを気にしつつ、ジョギングでも始めようかと思っているこの頃です。
- 

みなさまのコラム (皆様からお寄せいただいた情報です)

---

- 掲載情報募集中!  
機構の新技術情報でお伝えしたい情報をお持ちの方は本コラムをご活用ください。



★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○「下水道管路施設の維持管理における包括的民間委託の導入に関する報告書」  
とりまとめ【下水道管理指導室】

○全国下水道主管課長会議の主な説明事項

○「下水道管路施設の維持管理における包括的民間委託の導入に関する報告書」  
とりまとめ【下水道管理指導室】

国土交通省と公益社団法人日本下水道協会が事務局を務める「管路施設維持管理業務等調査検討会」は、このほど「下水道管路施設の維持管理における包括的民間委託の導入に関する報告書」を取りまとめました。複数年契約で、下水道管路維持管理における仕様発注を基本とした複数業務のパッケージ化の導入について提案しており、特に、技術職員が不足している中小自治体において、効率的な予防保全型維持管理体制の整備をする際の有効なツールになり得ると期待されます。報告書の内容については、国土交通省下水道部と公益社団法人日本下水道協会のホームページに掲載されていますので、そちらを御覧ください。

(国土交通省下水道部)

<http://www.mlit.go.jp/common/000208814.pdf>

【公益社団法人日本下水道協会】

<http://www.jswa.jp/wp/wp-content/uploads/2009/03/ccce55459211359527f6f0e437474cb3.pdf>

○全国下水道主管課長会議の主な説明事項

1. 最新の下水道事業を取り巻く情勢

(1) 平成24年度予算

- ・地域自主戦略交付金等の拡大、東日本大震災復興交付金 など

(2) 地方主権改革の動向

- ・下水道法事業計画の認可から同意なし協議への改正 など

2. 東日本大震災の教訓を活かした今後の地震津波対策

(1) 今後の地震津波対策

- ・耐津波対策を考慮した下水道施設設計の考え方
- ・下水道BCP策定マニュアルの改定
- ・下水処理復旧マニュアル、放射性物質対策 など

(2) 災害発生時の対応の徹底

- ・災害情報連絡・緊急情報連絡について など

3. 良好な環境の創造

(1) 良好な水環境の創造

- ・合流式下水道採用の全ての自治体で期間内の対策完了見込み（東日本大震災で被災した一部の自治体を除く）
  - ・水環境マネジメント検討会 など
- (2) 資源・エネルギー循環の形成
  - ・H24年度 B-DASH プロジェクトの採択
  - ・下水熱の活用促進（民間事業者のノウハウを活用した下水管ネットワークの面的活用、都市の低炭素化促進法案等）など
- 4. 事業の継続性の確保
  - (1) 効率的な汚水処理・整備の推進
    - ・人口減少等を踏まえた下水道計画の見直し（今後の汚水処理のあり方に関する検討 など）
    - ・下水道クイックプロジェクトの推進 など
  - (2) 長寿命化・ストックマネジメントの推進
    - ・「下水道ストックマネジメント手法に関する手引き（案）」の策定
    - ・更生工法の品質確保 など
  - (3) 経営基盤の強化
    - ・管路管理における包括的民間委託の導入等、下水道経営の健全化のための取り組み など
- 5. 国際展開
  - ・水・環境ソリューションハブの発足 など

=====

**【参考情報】**

- ◆愛知県 豊橋技術科学大学と共同で下水汚泥等のバイオマスの有効利用と CO2 の排出量の削減を目指した研究を開始 <4/13 EIC ネット>  
<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=27052&oversea=0>
- ◆岐阜の下水処理場:土壌から基準超の鉛とヒ素を検出 /岐阜 <4/13 毎日新聞>  
<http://mainichi.jp/area/gifu/news/20120413ddlk21040041000c.html>
- ◆放射性物質汚染汚泥処理 県、専門家3人委嘱へ がれき受け入れ可能性も /長野 <4/13 毎日新聞>  
<http://mainichi.jp/area/nagano/news/20120413ddlk20040068000c.html>
- ◆リン:排水から回収、実証実験 佐大、県内2社が共同研究 /佐賀 <4/16 毎日新聞>  
<http://mainichi.jp/area/saga/news/20120416ddlk41040227000c.html>
- ◆三菱レイヨン、中国企業に豊田通商と共同出資して水処理の運転・管理事業を開始 <4/17 EIC ネット>  
<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=27080&oversea=0>





電話番号の変更はありません。

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～



発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

